

5 ごみ・資源

(1) 収集の状況とリサイクル率

ア 収集量・持込量の年度別実績

単位 [t]

区 分		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)
①収集人口[人] (10月1日現在)		562,940	562,781	563,327	563,538	562,522
収 集 量	②可燃ごみ	83,236	84,823	85,216	83,592	83,295
	③不燃ごみ	5,836	5,433	5,190	5,040	4,573
	④粗大ごみ	2,215	2,261	2,373	2,120	2,282
	⑤有害ごみ	213	345	372	337	345
	⑥資源物	32,553	32,556	31,608	31,136	30,933
	⑦不法投棄ごみ	31	23	24	16	22
	⑧側溝清掃ごみ	164	106	108	104	119
	計	124,248	125,547	124,891	122,345	121,569
持 込 量	⑨事業系可燃ごみ	33,226	29,574	27,725	26,427	25,121
	⑩家庭系可燃ごみ	3,225	2,489	2,359	2,061	1,787
	⑪家庭系不燃ごみ	1,437	967	883	865	772
	⑫拠点資源物	1,178	1,126	546	482	436
	計	39,066	34,156	31,513	29,835	28,116
合 計		163,314	159,703	156,404	152,180	149,685
資源集団回収量		8,267	8,226	7,901	7,615	7,301
総ごみ量		171,581	167,929	164,305	159,795	156,986

単位 [g/(人・日)]

原 単 位 （ 収 集 量 ま た は 持 込 量 / ① / 3 6 5 日 ま た は 3 6 6 日）	収 集 量	可燃ごみ	405	412	414	406	406
		不燃ごみ	28	26	25	25	22
		粗大ごみ	11	11	12	10	11
		有害ごみ	1	2	2	2	2
		資源物	159	158	154	151	150
		不法投棄・側溝清掃	1	1	1	1	1
		計	605	610	608	595	592
	持 込 量	事業系可燃ごみ	162	143	135	129	122
		家庭系可燃ごみ	15	12	11	10	9
		家庭系不燃ごみ	7	5	4	4	4
		拠点資源物	6	5	3	2	2
		計	190	165	153	145	137
	合 計		795	775	761	740	729
	資源集団回収量		40	40	38	37	36
	総ごみ量		835	815	799	777	765

※収集人口には外国人登録者数を含む。

※平成25年10月以降の家庭系有害ごみの収集量にはライター・スプレー缶を含む。

※平成25年度から平成27年度の持込量拠点資源物には、本庁及び学校の紙資源を含む。

イ 資源物の戸別回収状況

単位 [t]

区 分		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)
古 紙	新 聞	2,204	2,029	1,829	1,674	1,452
	ダ ン ボ ー ル	4,020	4,097	4,122	4,132	4,186
	雑 誌 ・ 雑 紙	10,167	10,092	9,520	9,147	9,164
	紙 パ ッ ク	132	118	118	118	115
	計	16,523	16,336	15,589	15,071	14,917
空 き び ん		4,433	4,453	4,330	4,238	4,057
空 き 缶		1,511	1,495	1,452	1,413	1,394
古 着 ・ 古 布		2,343	2,439	2,380	2,412	2,463
容 器 包 装 プ ラ ス チ ッ ク		5,793	5,854	5,853	5,967	6,025
ペ ッ ト ボ ト ル		1,950	1,979	2,004	2,035	2,059
剪 定 枝		—	—	—	—	18
合 計 ⑥		32,553	32,556	31,608	31,136	30,933

ウ 資源物の拠点回収状況

単位 [t]

区 分		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)
新 聞		62	56	24	22	15
ダ ン ボ ー ル		254	264	179	151	136
雑 誌 ・ 雑 紙		793	853	339	306	281
紙 パ ッ ク		1	1	1	(0.5 未満)	1
は が き		4	4	3	3	3
上 履 き ・ 靴		—	—	(0.5 未満)	(0.5 未満)	(0.5 未満)
合 計 ⑫		1,178	1,126	546	482	436

※雑誌・雑紙にはシュレッター紙を含む。

※平成25年度から平成27年度には、本庁及び学校の紙資源を含む。

エ 資源集団回収状況

単位[t]

区 分	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)
新聞	3,774	3,607	3,260	3,011	2,688
ダンボール	1,293	1,360	1,393	1,382	1,388
雑誌・雑紙	2,525	2,559	2,531	2,501	2,501
紙パック	77	80	81	81	81
生きびん	6	5	6	6	6
雑びん	55	53	59	60	55
スチール缶	36	38	39	40	41
アルミ缶	165	169	169	167	168
古着・古布	330	346	355	358	365
金属くず	6	9	8	9	8
計	8,267	8,226	7,901	7,615	7,301
補助金額 [円]	63,796,718	63,577,360	61,473,707	59,450,569	57,170,374
団体数 [団体]	392	390	388	388	389

オ 資源化量の年度別実績

単位 [kg]

区 分		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)
⑬	新聞	2,203,890	2,028,930	1,828,650	1,674,090	1,451,820
	ダンボール	4,019,610	4,096,560	4,122,410	4,132,320	4,185,840
	雑誌・雑紙	10,167,310	10,092,470	9,519,650	9,146,730	9,163,990
	紙バック	131,860	118,180	117,620	117,600	115,320
	空きびん	4,337,940	4,360,670	4,171,320	4,040,110	3,884,490
	スチール缶	861,540	813,600	759,315	700,070	672,600
	アルミ缶	538,495	578,155	590,685	612,170	626,170
	古着・古布	2,343,130	2,438,990	2,379,650	2,412,000	2,463,530
	容器包装プラスチック	5,002,790	5,029,140	5,005,380	5,037,760	5,146,730
	ペットボトル	1,550,950	1,590,310	1,636,240	1,612,100	1,696,310
容プラ・ペットボトル残渣	—	—	—	29,220	1,760	
剪定枝	—	—	—	—	17,670	
	計	31,157,515	31,147,005	30,130,920	29,514,170	29,426,230
⑭ 持込	拠点資源物					
	古紙	1,177,900	1,126,130	546,550	482,320	435,650
	はがき	(3,760)	(3,860)	(3,320)	(3,160)	(2,730)
	上履き・靴	—	—	100	100	280
	計	1,177,900	1,126,130	546,650	482,420	435,930
⑮	戸吹清掃工場					
	鉄	415,220	435,100	414,920	330,940	367,050
	焼却灰	8,330,240	7,673,840	7,327,320	6,875,630	6,500,400
	小 計	8,745,460	8,108,940	7,742,240	7,206,570	6,867,450
	北野清掃工場					
	鉄	53,000	61,380	52,260	56,940	53,390
	焼却灰	2,701,620	2,760,000	2,597,330	2,659,300	2,598,790
	小 計	2,754,620	2,821,380	2,649,590	2,716,240	2,652,180
	戸吹不燃物 処理センター					
	鉄	1,732,910	1,295,850	1,154,240	1,012,610	1,195,610
非鉄金属	143,890	266,950	292,460	268,620	297,200	
自転車	152,850	156,660	143,090	145,130	144,270	
小型家電	497,150	658,350	727,570	743,120	162,480	
基板等	—	—	—	—	4,050	
2次乾電池	1,130	1,170	—	—	—	
スプレー缶等	37,020	105,150	129,950	132,320	132,800	
雑線	—	31,540	15,240	47,990	44,550	
ガラス陶磁器	—	98,190	179,850	150,930	124,760	
傘等	—	—	77,010	74,420	77,370	
フロン回収品	—	—	5,330	7,160	5,690	
不燃残渣	—	—	—	5,300	44,320	
その他	—	42,000	44,290	36,750	53,520	
小 計	2,564,950	2,655,860	2,769,030	2,624,350	2,286,620	
粗大再生品	117,696	113,805	82,852	77,148	72,616	
乾電池・蛍光管	59,521	80,037	81,500	84,430	168,830	
中 計	2,742,167	2,849,702	2,933,382	2,785,928	2,528,066	
プラスチック 資源化センター						
容器包装プラ	(5,002,790)	(5,029,140)	(5,005,380)	(5,037,760)	(5,146,730)	
ペットボトル	(1,550,950)	(1,590,310)	(1,636,240)	(1,612,100)	(1,696,310)	
容プラ・ペット残渣	—	—	—	(29,220)	(1,760)	
小 計	(6,553,740)	(6,619,450)	(6,641,620)	(6,679,080)	(6,844,800)	
多摩清掃工場						
鉄	172,020	149,450	159,070	139,250	167,670	
非磁性物	32,290	25,810	39,320	41,800	42,040	
焼却灰	3,117,470	2,785,760	3,070,600	3,100,780	3,300,980	
小 計	3,321,780	2,961,020	3,268,990	3,281,830	3,510,690	
多摩清掃工場 不燃・粗大 処理施設						
鉄	517,540	443,690	420,140	415,870	447,430	
非鉄金属	43,070	35,570	30,950	32,260	34,340	
自転車	6,910	10,070	7,450	3,930	3,310	
基板等	380	600	520	210	250	
家具・羽毛布団・CD	—	—	820	5,120	7,490	
フロン回収品	—	2,080	2,710	2,420	2,320	
その他	—	70	1,340	—	1,010	
小 計	567,900	492,080	463,930	459,810	496,150	
乾電池・蛍光管	—	33,700	35,220	31,110	37,780	
中 計	567,900	525,780	499,150	490,920	533,930	
計	18,131,927	17,266,822	17,093,352	16,481,488	16,092,316	
⑯ 資源化量	⑬+⑭+⑮	50,467,342	49,539,957	47,770,922	46,478,078	45,954,476
⑰ 資源集団回収量		8,267,121	8,226,110	7,900,590	7,614,913	7,300,684
総資源化量	⑯+⑰	58,734,463	57,766,067	55,671,512	54,092,991	53,255,160

※戸吹不燃物処理センター

- 鉄…………… 処理困難鉄、処理磁性
- 非鉄金属…………… アルミ等、選別金属
- スプレー缶等… スプレー缶、ライター、炭酸ガスボンベ
- その他…………… コンクリートブロック、バッテリー、バイクなど、不法投棄ごみ等からの資源物

※多摩清掃工場不燃・粗大処理施設

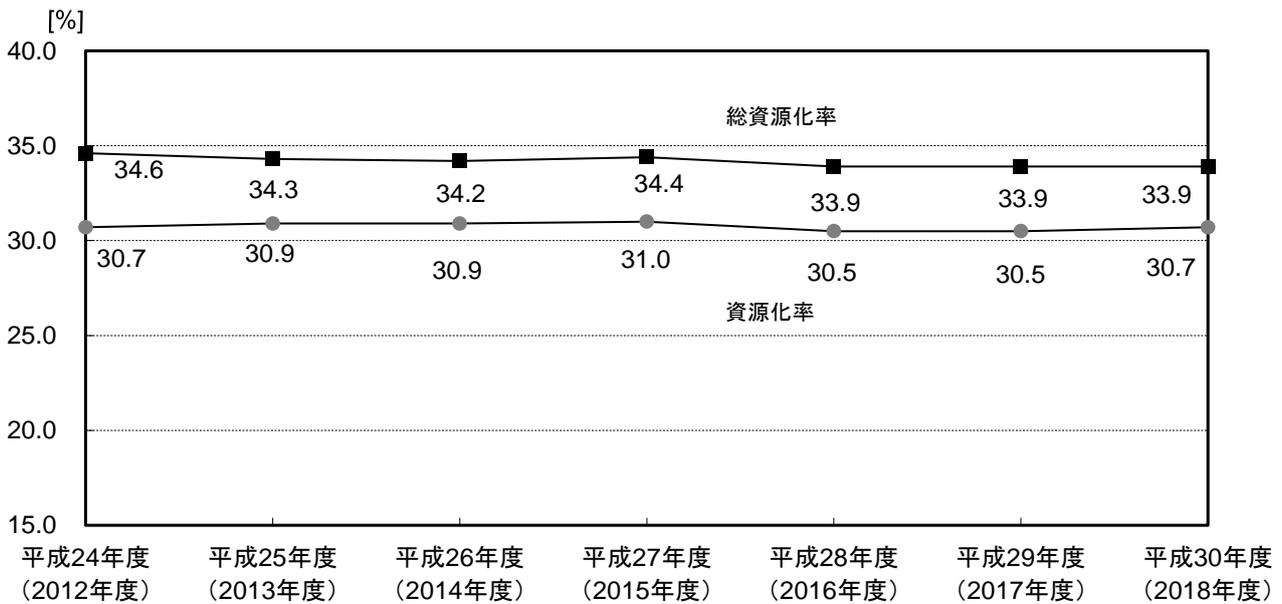
- 鉄…………… 鉄類（処理後のスプレー缶分も含む）
- 非鉄金属…………… アルミ類（処理後のスプレー缶分も含む）、銅管
- 基板等…………… 小型家電由来の電子回路基板、携帯電話
- その他…………… バッテリー、消火器など、不法投棄ごみ等からの資源物

カ 収集量・持込量と資源化量

単位 [t]

区 分	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)
A 収集ごみ量 ②+③+④+⑤+⑦+⑧	91,695	92,991	93,283	91,209	90,636
B 持込ごみ量 ⑨+⑩+⑪	37,888	33,030	30,967	29,353	27,680
C 収集・持込資源物回収量 ⑥+⑫	33,731	33,682	32,154	31,618	31,369
D 収集・持込資源物资源化量 ⑬+⑭	32,335	32,273	30,677	29,996	29,862
E 中間処理後の资源化量 ⑮	18,132	17,267	17,094	16,482	16,092
F 資源集団回収量 ⑰	8,267	8,226	7,901	7,615	7,301
G ごみ量 A+B+C	163,314	159,703	156,404	152,180	149,685
H 総ごみ量 A+B+C+F	171,581	167,929	164,305	159,795	156,986
I 资源化量 D+E	50,467	49,540	47,771	46,478	45,954
J 総资源化量 D+E+F	58,734	57,766	55,672	54,093	53,255

キ 総资源化率及び资源化率の推移



※総资源化率及び资源化率の算出方法

$$\text{総资源化率} [\%] = \frac{\text{総资源化量 J}}{\text{総ごみ量 H}} = \frac{\text{資源物资源化量 D} + \text{中間処理後の资源化量 E} + \text{資源集団回収量 F}}{\text{収集ごみ量 A} + \text{持込ごみ量 B} + \text{資源物回収量 C} + \text{資源集団回収量 F}}$$

$$\text{资源化率} [\%] = \frac{\text{资源化量 I}}{\text{ごみ量 G}} = \frac{\text{資源物资源化量 D} + \text{中間処理後の资源化量 E}}{\text{収集ごみ量 A} + \text{持込ごみ量 B} + \text{資源物回収量 C}}$$

(2) 各種データ

ア 収集量・持込量の施設別搬入実績（平成30年度）

単位 [t]

区 分		搬 入 先							計
		焼 却 施 設			不燃・粗大処理施設		資 源 化 施 設		
		戸吹清掃工 場	北野清掃工 場	多摩清掃工 場	戸吹不燃物 処理セ ンター	多摩清 掃場	プラスチック 資源化 セ ンター	資源物 選別施設	
収 集	可燃ごみ	35,563	22,369	25,363					83,295
	不燃ごみ				3,742	831			4,573
	粗大ごみ	811	2		829	640			2,282
	有害ごみ				285	60			345
	資源物						8,084	22,849	30,933
	不法投棄ごみ	15			4	3			22
	側溝清掃ごみ	68	51						119
持 込	可燃ごみ	23,910	432	2,566					26,908
	不燃ごみ				526	246			772
	拠点資源物							436	436
計		60,367	22,854	27,929	5,386	1,780	8,084	23,285	149,685

イ 施設別総搬入実績（平成30年度）

単位 [t]

区 分		搬 入 先							計
		焼 却 施 設			不燃・粗大処理施設		資 源 化 施 設		
		戸吹清掃工 場	北野清掃工 場	多摩清掃工 場	戸吹不燃物 処理セ ンター	多摩清 掃場	プラスチック 資源化 セ ンター	資源物 選別施設	
収集・持込ごみ		60,367	22,854	27,929	5,386	1,780	8,084	23,285	149,685
選別物		3,764		1,333	53				5,150
計		64,131	22,854	29,262	5,439	1,780	8,084	23,285	154,835

※その他は戸吹清掃工場、北野清掃工場、戸吹不燃物処理センターに搬入されたごみのうち、積替輸送され、多摩清掃工場で処理されたごみをいう。

ウ 焼却施設の実績（平成 30 年度）

単位 [t]

区 分		戸吹清掃工場	北野清掃工場	多摩清掃工場	計
稼働日数 [日]		324	306	339	—
搬入量 (焼却量)		64,131 (60,193)	22,854 (23,697)	29,262 (29,116)	116,247 (113,006)
焼却残灰	エコセメント	6,441	2,599	3,204	12,244
	溶融固化物	59	—	97	156
金属分		367	53	210	630
埋立		—	—	—	—
その他		—	1	—	1
搬出量		6,867	2,653	3,511	13,031
うち資源化量		6,867	2,652	3,511	13,030

※焼却残灰は全量資源化されている。

※その他は戸吹清掃工場、北野清掃工場に搬入されたごみのうち、積替輸送され、戸吹不燃物処理センター、多摩清掃工場で処理されたごみをいう。

エ 不燃・粗大処理施設の実績（平成 30 年度）

単位 [t]

区 分		戸吹不燃物 処理センター	多摩清掃工場	計
稼働日数 [日]		214	224	—
搬入量		5,439	1,780	7,219
有価物		1,854	494	2,348
非有価物 (乾電池・蛍光管委託処理)		604 (168)	40 (38)	644 (206)
埋立		—	—	—
可燃物 (粗大ごみ由来の可燃物)		2,858 (73)	1,075 —	3,933 (73)
搬出量		5,316	1,609	6,925
うち資源化量		2,528	534	3,062

※（ ）は内数を表す。

※搬入量と搬出量は、蒸発や一時保管等の理由で一致しない場合がある。

※その他は戸吹不燃物処理センターに搬入されたごみのうち、積替輸送され、多摩清掃工場で処理されたごみをいう。

※資源化量には、搬出した可燃物が焼却処理後に資源化される量を含まない。

※資源化量に粗大再生品、乾電池・蛍光管の資源化された量を含む。

オ プラスチック資源化センターの実績（平成 30 年度）

単位 [t]

区 分		容器包装 プラスチック	ペットボトル	計
稼働日数 [日]		256	256	—
搬入量		6,025	2,059	8,084
再商品化量		5,147	1,696	6,843
可燃物	焼却	—	—	1,180
	資源化	—	—	2
不燃物		—	—	7
搬出量		—	—	8,032
うち資源化量		—	—	6,845

※搬入量と搬出量は、蒸発や一時保管等の理由で一致しない場合がある。

※可燃物と不燃物は合わせて搬出しているため合計値のみを記載する。

※可燃物の一部は資源化し、残りは戸吹清掃工場で焼却処理する。

※不燃物は戸吹不燃物処理センターで選別処理する。

※資源化量には、戸吹清掃工場と戸吹不燃物処理センターで処理され資源化される量含まない。

カ ニツ塚最終処分場・エコセメント化施設年度別実績

区 分		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)
不 燃 残 渣	埋立重量 [t]	334	86	60	40	0
	埋立容量 [m ³]	354	88	61	40	0
	搬入配分量 [m ³]	227	248	268	144	103
	搬入配分貢献量 [m ³]	-127	160	207	104	103
焼 却 残 渣	埋立重量 [t]	—	—	—	—	—
	埋立容量 [m ³]	—	—	—	—	—
	エコセメント化 施設搬入量 [t]	14,149	13,220	12,945	12,519	12,244
	搬入配分量 [t]	11,104	11,060	11,124	10,658	11,178
	搬入配分貢献量 [t]	-3,045	-2,160	-1,821	-1,861	-1,066

※平成7年3月から平成10年4月までは谷戸沢処分場へ、それ以降はニツ塚処分場へ搬入している。

※搬入配分量とは東京たま広域資源循環組合が各組織団体に対して年度ごとに設定している廃棄物搬入量の目標値のことをいう。

※搬入配分貢献量とは搬入配分量から搬入実績量を差し引いたものをいう。

キ 最終処分場搬入実績累積量

谷戸沢処分場搬入実績累積量 (平成6年度(1994年度)～平成10年度(1998年度))	68,926 m ³
ニツ塚処分場搬入実績累積量 (平成9年度(1997年度)～平成30年度(2018年度))	182,575 m ³
エコセメント化施設搬入実績累積量 (平成18年度(2006年度)～平成30年度(2018年度))	147,351 t